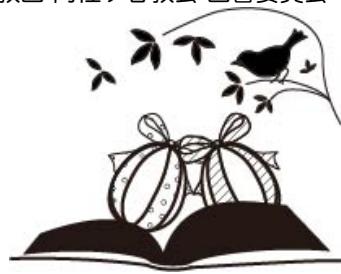


☆☆図書室だより☆☆ ☆第25号☆

☆☆- 図書委員会よりお知らせ -☆☆



2016年11月(後期)～2017年4月(前期) 新規登録の書籍をご案内します

書名 (ご寄贈書:クリスマス) (購入書:イースター)	著者名など	出版社	分類シール
イースター・ブック	マルティン・ルター 著 R.ベイントン 編 中村妙子 訳	新教出版社	[緑 198.34 Lu]
クリスマス・ブック	〃	〃	[緑 198.34 Lu]
☆ ルターが聖書の内容を民衆にもわかりやすくひろめたことがわかるような、時代、年代を超えて親しめる説教集。イラストとして当時の絵画も合わせて紹介されていて、イースター、クリスマスの学びになります。			
書名 (ご寄贈書:新約) (購入書:旧約)	著者名など	出版社	分類シール
聖書人物おもしろ図鑑 新約編	中野 実 監修 真壁 巖 他 編集 金 斗鉉 イラスト	日本キリスト教団 出版局	[橙 193 Ko]
〃 旧約編	大島 力 監修	〃	[橙 193.1 Ko]
(裏へつづく ←)			

ご紹介 ...



中野 実 協力牧師 より

『そうか！なるほど!! キリスト教』 松本敏之 他 監修 [橙 193.6 Ya]

『聖書人物おもしろ図鑑 新約編』 中野 実 他 監修 日本キリスト教団出版局

最近私自身が執筆、出版に関わった本を二冊紹介したいと思います。一冊目は『そうか！なるほど!! キリスト教』（日本キリスト教団出版局、2016年9月）です。監修者の一人は阿佐ヶ谷教会元伝道師松本敏之先生（現在、鹿児島加治屋町教会牧師）。キリスト教に関する各分野の専門家24名が、素朴であるけれども、けっこう難解な50の問い合わせに本気で答える、という内容の書物で、私も3つの問い合わせに答えています。私もかなり時間とエネルギーを用いて一生懸命執筆しました。ある問い合わせは、阿佐ヶ谷教会での私自身の説教を基にして執筆されています。

もう一冊は、『聖書人物おもしろ図鑑 新約編』（日本キリスト教団出版局、2016年11月）で、私は監修者として関わりました（ちなみに編者として真壁巖牧師、一昨年出た旧約編の監修者として大島力先生が関わっています）。聖書に登場する人物に注目しながら、聖書の内容を学んでもらおうという企画で、親しみやすい金斗鉉さんのイラストと簡潔でバランスの良い解説文から成る書物です。しかし大事な点は、この本を用いて実際に聖書を読んでいってほしい、ということです。聖書が読みたくなる聖書入門。なかなかユニークな本です。

二冊とも図書室に寄贈していますので、どうぞご利用ください。

(教会員の鑑賞文 より)



～『聖書人物おもしろ図鑑 新約編』を鑑賞して～

本書の帯に、『人物の名前に注目すると聖書がずっとおもしろくなる』と、あります。登場人物を中心とした、新約聖書の粗筋です。

復活の証人たちのページには、主の天使、マグダラのマリアをはじめ、女人たち、クレオパ、トマスが登場します。また、反対側の証人たちとして、イエスさまの墓を監視していた番兵たちも出て来ます。

ガリラヤでは、湖のほとりで弟子たちに姿を現されたイエスさまは、ペトロに、「わたしを愛するか」と三度尋ねられました。そして、「わたしの羊を飼いなさい」とお命じになるシーンが出て来ます。福音書のラストシーンです。

ここから前に、さかのぼって読んでみては、いかがでしょうか。きっと新しい発見があるかも知れません。（PSK）

(→新規登録ご案内のつづき)

書名(ご寄贈書)	著者名など	出版社	分類シール
キリストの足音	黒田平治 著	日本基督教団出版局	[青 194 Ku]
クリスマスものがたり	フェリクス・ホフマン さくしようのこうきち やく	福音館書店	[黒 726.5 Ho]
キリスト伝説集 岩波文庫 5530-5531	ラーゲルレーヴ 作 イシガオサム 訳	岩波書店	[黒 949.8 La]
人生の後半戦とメンタルヘルス カウンセリング講座ブックレット 15	藤掛 明 著	キリスト新聞社	[茶 197 Fu]

‘宗教改革500年記念’によせて ~ I ~

書名(購入書)	著者名など	出版社	分類シール
はじめてのルター	S.ポールソン 著 湯川郁子 訳	教文館	[茶 198.38 Pa]
はじめての宗教改革	G.S.サンシャイン 著 出村 彰 他訳	教文館	[赤 192.3 Su]
アウグスブルグ信仰告白	フィリップ・メランヒトン 著 ルター研究所 訳	リトン	[茶 198.38 Me]
『キリスト者の自由』を読む	ルター研究所 編著	リトン	[茶 198.38 Ru]
ルターから今を考える 宗教改革500年の記憶と想起	小田部進一 著	日本キリスト教団出版局	[茶 198.38 O]
義認の教理に関する共同宣言	ローマ・カトリック教会/ルーテル世界連盟 著	教文館	[赤 191 Ro]
ルターのりんごの木 格言の起源と戦後ドイツ人のメンタリティ M・シュレーマン 著 棟居 洋 訳 教文館			[茶 198.38 Sc]
ヴィッテンベルクの小夜啼鳥 ザックス、デューラーと歩く宗教改革 藤代幸一 著		八坂書房	[赤 192.5 Fu]
木版画を読む 占星術・「死の舞踏」そして宗教改革	森田安一 著	山川出版社	[赤 192.3 Mo]

(教会員の鑑賞文より)



『マルティン・ルター ことばに生きた改革者』(岩波新書)

徳善義和 著 岩波書店 [茶 198.38 To]

手近にある高校世界史教科書に「1517年、ドイツ中部ザクセンのヴィッテンベルク大学神学教授マルティンルターは、魂の救いは善行によらず、キリストの福音を信ずること（福音信仰）のみによるとの確信から、贖宥状（免罪符）の悪弊を攻撃する九十五カ条の論題を発表した」とある。ちょうど500年前だ。ルター（1483～1546）はアウグスティヌス派の修道士であり、メランヒトンとともにヴィッテンベルク大学の看板教授だった。この本はそのルターの生涯と信仰を最もわかりやすく簡潔にかつ雄弁に記していると感じた。勤勉なルターは膨大な著作と聖書のドイツ語訳を残している。阿佐ヶ谷教会図書室には『ルター著作集』の数冊と、『ルター著作選集』（九十五カ条はこの本にも収載されている）や徳善先生による『自由と愛に生きる「キリスト者の自由」全訳と吟味』と『マルティン・ルターの生涯』（フリーデンタール著）ほかなど若干のルター関連本がある。（m）



『ヴィッテンベルクの小夜啼鳥 ザックス、デューラーと歩く宗教改革』

藤代幸一 著 八坂書房

小夜啼鳥（さよなきどり）とは曙を告げるルターのことで、ザックス、デューラー、クラーナハ他、宗教改革渦中とヨハネ黙示録を重ねた表現など、訳詞や挿絵から発見や笑いで感動します。ルターを慕った芸術家作品の重要性だけでなく、メディアなど技術革新を生んだヴィッテンベルクやニュルンベルクなど各地の魅力、民衆の力強い生活が伝わってきます。（Ri）